

皆さんこんにちは。私は今広島原爆ドーム前に立っています。75年前の8月6日、このドームからわずか先に米国の戦闘機、B29エノラゲイによって原子爆弾、リトルボーイが投下されました。地上600メートル当たりで爆発、広島は一瞬にして、3000度の熱線、数十万気圧の爆風、高熱火災によって人間や建物は吹き飛ばされ人々は即死、建物の下敷きで焼き尽くされて、生きるすべを失ったのです。そして放射線によって体の構造が破壊されかろうじて生き残った人々も、外部被爆、内部被ばくによって年内に14万人もの命が奪われたのです。

ここは当時猿楽町、中島町、材木町、天神町などの町が存在して庶民が暮らすにぎやかな街だったと聞いています。戦後幾多の人たちによって広島が復興に立ち上がり、ここ広島は平和を象徴する公園として整備されて今日があります。

戦争は残酷であり、悲惨であり、怒りであり、そんなものしか残りません。過ちを起こさないためにも私たちは生涯記憶を胸に語り継いでいきたいと思っていますが今や被爆者の平均年齢は83歳を超えています。

やがて被爆者は一人もいない時代がやってきます。風化させぬ努力が必要です。これから後に生まれてこられる人々によって語り継いでいただきくことが求められます。

旧日本軍はどのようにして戦争に突き進んだのでしょうか。一部の政治家、軍人によって引き起こされた太平洋戦争、多くの国民の命と財産を失いました。

中でも1945年は日本が古代から続いた長い歴史上に大失態の年を刻み込みました。3月10日の東京大空では10万人が無くなりました。それに続いて全国主要都市の空襲、沖縄の地上戦では幼児から大人まで20万人が犠牲になりました。そして広島長崎の原爆投下で米軍はあの戦争でとどめを刺したのではありませんか。

今地球上には14,000発の核兵器があるといわれています。全人類の英知を結集して核兵器廃絶に果敢に取り組み挑戦しなければなかなか成し遂げることは出来ません。2017年国連で採択された核兵器禁止条約の前文に「被爆者がもたらした受け入れがたい苦しみに留意する」と明記されたこと、そして「核の開発、保有、使用、威嚇も禁止する」という条約です。

今世界は新型コロナウイルスが蔓延して地球規模でその対策に大わらわですが核兵器の廃絶、戦争、原爆被害の実相、平和な暮らし等々を考え、訴えることに休んでいる時間はありません。

尊い人間の命、75年前の軍国主義の思想の下で生まれた幼児、わずか2,3年で人生が終わった事実、親御さんの気持ちを察するにあまりにもむごい出来事でした。

核兵器を追い払って世界平和を呼び寄せる行動が世界中で実現できる方法はないのでしょうか。広島原爆資料館には沢山の原爆の遺品、写真、書き物が展示してあります。世界の人々によってあの悲惨な出来事を学んでいただきたいのです。中でも核大国といわれる国々の政治家にはヒロシマナガサキを訪問されて被爆の実相に触れていただきたいのです。

核兵器禁止条約に署名していただき、人類が未来永劫に生きていくためには核兵器をこの地球上からゼロにしない限り不可能です。

原爆投下から75年、広島はきれいな街になりました。重いテーマではありますが核兵器が無くなるま

で被爆者は長い坂道を上り詰めます。

私たち被爆者の命が尽きた後も市民運動による平和を守る運動がこの広島から、あるいは全国津々浦々から広く根付いていくことを願っています。

広島からの大きな叫び声です。

2020年8月6日

広島県被団協・理事長代行

みまき としゆき

箕牧 智之